

# Agency ver.2

学校教育目標 「みんなの笑顔があふれる学校」

学校経営の4つのキーワード

①「信頼して、任せて、支える」

・トラブルを「学び」に変える！

## 新たな伝統を創る



第77回入学式



### 校長式辞 「『泥だらけのストッパー』を指して」

まず、この写真を見てもらいたいと思います。これは、先日のWBCで最終回のマウンドに登場した大谷選手です。この姿に対して、「泥だらけのストッパー」という表現がされました。

そもそも、野球で言うストッパーとは、試合の最後に投げるピッチャーのことです。自分が投げられるまでは試合に出場することはない、ブルペンという場所で準備をしているので、当然ユニフォームが汚れることはありません。

しかし今回のWBC決勝戦、九回にストッパーとして登場した大谷選手は、ユニフォームが泥だらけになっていました。それまでバッターとして出場していたので、スライディングをしたりしてユニフォームが汚れていたわけですが、本来、ストッパーのユニフォームが汚れていることはあり得ないことであり、つまり、「泥だらけのストッパー」とは、ピッチャーとバッターの二刀流ができる大谷選手にしか使えないフレーズということになります。

それでは、「泥だらけのストッパー」という言葉は何を意味しているのでしょうか。私は「常識にとらわれない」ということだと考えます。これまでプロ野球の世界ではピッチャーとバッターの二刀流は無理だというのが常識でした。大谷選手が二刀流に挑戦し始めた時も、どちらかに絞った方がいいという否定的な意見がほとんどでした。しかし、大谷選手は見事にそれを覆してくれました。今では誰もが「大谷選手に対して『二刀流でがんばって！』と応援しているのは、皆さん知ってのとおりです。

ですから、私は皆さんにも常識にとらわれない「泥だらけのストッパー」になってほしいと思っています。「常識にとらわれない」ということは、言い換えれば「自分の限界を超えていく」ということです。自分で勝手に「私には無理だ」「どうせできない」と決めつけずに、失敗を恐れず自分がやりたいことにどんどんチャレンジしてほしいと願っています。

これから先生方や先輩たちもあなたたちの挑戦を一生懸命応援しますので、ぜひ「泥だらけのストッパー」を目指してほしいと思っています。そして、みんなで新たな大津中学校の伝統を創っていきましょう。